

神樹の会会報

No. 33

平成6年7月19日

発行所：神樹の会

発行人：水野 整一

本部事務所（六甲作業所内）

〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号

☎ 821-1533

六甲作業所、東部デイサービス

〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号

☎ 821-1533

明芳デイサービス

〒654 神戸市須磨区大田町6丁目4-4

☎ 735-8835

垂水作業所

〒655 神戸市垂水区星陵台4丁目4番45号

☎ 782-9675

福祉の店“いたやど”

〒654 神戸市須磨区大黒町2丁目2-12

☎ 733-2477

（事業所）

実践にあつて

神戸市民生保健委員会

委員長 田島 俊三

皆様ご苦労様です。神樹の会発足以来の皆様の努力に頭の下がる思いです。

神戸市においては重度障害者の施策が明確にされてきており、関係者の意見を聞き実態にあうよう見直し、発展させることが必要と思われまふ。皆様のこれまでの活動の成果も確実に盛り込まれています。東部在宅障害者センター、今建設中の中部在宅障害者センターにも着実に皆様の活動が反映されています。今後も変わらぬ活動を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

互いに助け合おう

神樹の会会長

水野 整一

神樹の会は、民生局、教育委員会、指導員、ボランティア、会員の皆様に支えられていることに深く感謝致しております。今、厳しい現実の中、お互いの力を合わせ助けあつていきたいと思います。

神戸市では、未来の街作り（マスタートプラン）が発表されましたが、これに我々のお願いを加えて障害者の人権尊重ができる、共に生きる共生社会の施策を心からお願ひし、今後とも神樹の会の支援を重ねてお願ひしたいと思います。

平成6年度重点目標

1. 会員相互の絆を強め
ノーマライゼーション
の輪を広げよう
2. 身体障害児（者）の
進路保障
① デイサービス事業の
拡充・確保
② 療護施設の早期実現
3. パザー活動の
発展と充実

就任にあつて

伊藤 弘海

この度東部デイサービス事業所の責任者として就任することになりました。友生養護学校を最後に三十八年間の教職に終止符を打ち、退職後は、肢体不自由児（者）のボランティア活動に参加、平成四年より東部デイサービスの指導員となり現在に至つた次第です。今後、神樹の会がますます充実するようお祈り致します。

（東部デイサービス事業所長）

今年度私

金沢 葉子

は、前任増田先生のご健康上のやむを得ない処置とお許し戴きまして、又勤めさせて戴きます。現在の作業所の活動について、は、とてもきびしいものを感じていますが、各方面のご指導、ご助言を仰いで、所員共々この難局を乗り越えていきたいと思つております。（六甲作業所所長）

将来を見据えて

神戸市立友生養護学校校長

石川 敬

神樹の会には、物心両面でご支援戴き、又現場実習でお世話になりありがとうございます。今春、両校で十七名が卒業し、民間企業に二名、専門学校に一名、施設に一名、あとは神樹の会の作業所、デイサービスに通っています。又両校二百四十三名の在校生も障害に負けず頑張っています。友生は三年越しの改築が終わり落ち着いた明るい校舎になり、今年には本校グラウンドで体育会を開催しました。両校力を合わせ、本会と手をたずさえ、将来を見据えて、より住みよい社会を目ざして頑張りたいと思つております。

平成六年度の新役員が次のように決まりました。東部デイサービス事業所長に伊藤弘海先生が、六甲作業所長に金沢葉子さんが就任されました。又、友生養護学校の丸山教頭の後任に小林慎嗣先生が着任されました。

顧問

石川 敬

原田由雄

長谷川隼彦

相談役

足立梅雄

池田 稔

山田福松

会長

増田龍昭

高内恒夫

山田福松

副会長

安原 実

岡本 茂

浜本允美

名誉会長

望月秀雄

堀川静子

水野整一

会計

牧野一夫

宮脇テル子

西村美絵子

会計監査

小野治子

大橋敬子

池田恵子

書記

樋口幸美

小泉公子

宮本恭子

局長

吉岡佑起子

中野紀子

市野美恵

庶務

林 恵理子

宮脇テル子

前川登美子

幹事

日高美恵子

前川登美子

牛村和子

OB

三浦繁子

小谷由子

百道泰子

友生

森山チエ子

森 光子

大橋一慧

垂水

杉山つや子

大橋敬子

小泉文子

六甲作業所所長

藤本百合子

鷺岡了子

小泉文子

垂水作業所所長

南 洋子

石井クミ子

市場千明

東部デイサービス所長

山崎以左子

落町洋子

小林慎嗣

明芳デイサービス所長

瀬口暢子

藤井和信

矢野美知子

垂水希望の家

小川慎嗣

奥野和子

西村洋子

福祉の店“いたやど”

進元文枝

野村侑子

田中恵理子

訓練教室長

古山紀美恵

金沢葉子

西垣幸夫

伊藤弘海

西原孝左子

鮫島ミツエ

高水恵子

土居美千代

池田恵子

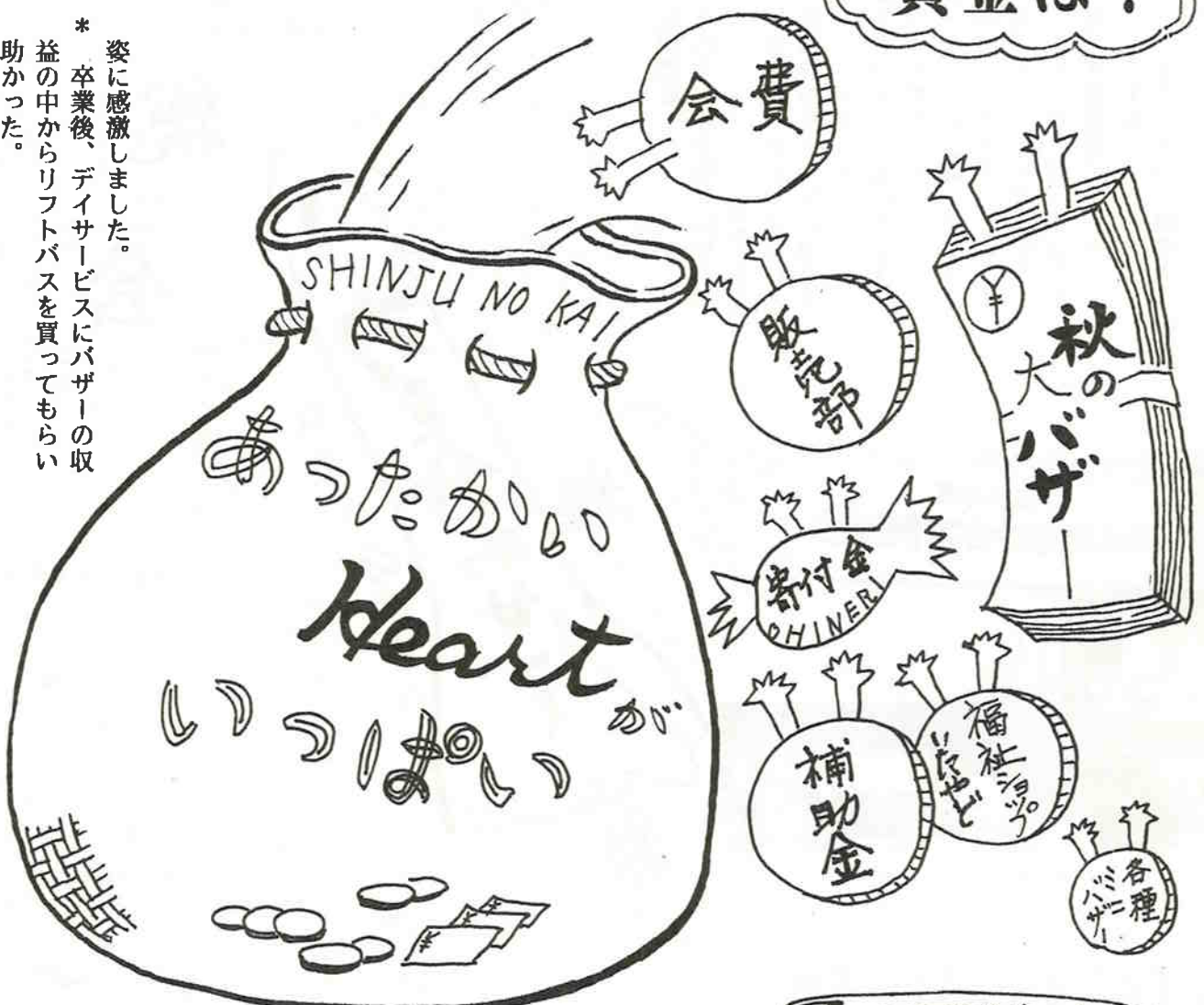
黒田素美子

神樹の会を運営するためには各事業所への補助を含め一年間かなりの費用を必要とする。そのためにはそれに見合う収入が備えられなければならない。会費、販売部、秋のバザー、寄付金、神戸市からの補助金、福祉ショップ、ミニバザー等が収入の内訳である。神樹の会の重点目標の中に「バザー活動の発展と充実」の項があることから、この度編集委員会では、第二十三回目を迎えているバザーについて約百人の会員の方々に意見・感想を頂戴することができた。

バザーに参加されて何か印象に残ったことは？

- * 第一回のバザーが終ったとき涙が止まらなかった。お母さん方も殺氣だっただけでトラブルもあったが一つの心になった。
- * お客さまが待っていて下さり、お互いの元気を喜びあい来年を約束した。
- * 心のこもった差し入れを戴くことがある。
- * 始めのころ売れるものがなく市場へさつま、うどん、こんにやく等を仕入にいったことや、委託販売もあった。
- * 先輩たちが歩んできた道で私たちも当然の仕事と思った。
- * 回を重ねる毎にいい商品が少なくなっていくようで今から声かけをしている。
- * 会場の熱気のためお客さんが倒れたり売る方も直立不動で大変だったこと。
- * 初めて参加したとき、荷物の量とお客さんの人数などとにかく驚いた。
- * 先輩のお母さんたちのすごいパワー。
- * 市内の幼・小・中・高のPTAの力がたがたバザーの商品を集めて下さる

資金は？



- * 卒業後、デイサービスにバザーの収益の中からリフトバスを買ってもらい助かった。
- * 普通校、一般企業の方々の無償の協力に感謝と敬服を覚えた。
- * レジとお金の受け渡しが大変。
- * 一日目のお客さまの多さと二日間の売上の多さにびっくり。
- * 一年に一回のイベントで日頃話しをする機会のない先輩やお母さんたちと話しが心地良い疲れの中で勉強できる。
- * 昔にくらべたら楽になった。
- * 先輩がこわかった。
- * 大変だけれど楽しかった。

どのような気持ちで参加されましたか？

- * 卒業後、一つでもいくところができるようにと願って一生懸命にした。
- * わからないままに参加したが、その収益が子どもの卒業後の施設に向けて使われていくことを知り、これは頑張らないといけないと思った。
- * 子どもたちの進路を考えるとき、ひとまずはお金だと思い、より多くの品物を作り収益アップを心がけた。
- * 子どものことを思い成功させることを第一に。
- * 持ち場の売上を気にかけて、お客さまに一生懸命に接する。
- * 先輩のお母さんたちを見習って、会のこともまだ理解できていなかったが、子どもの将来のためと理解した。

このゆびとまれ...

養護学校を卒業したの 矢野 美知子

私の子供は現在十三才、中学部二年生です。ハーバーランドの北の兵庫区からスクールバスに乗って、毎日元気に通学しています。外の景色を眺めたり、運転手さんや先生方との楽しい会話のやり取りの中を友生へ。

「強」は、大の阪神ファンで、個人的には新庄選手が好きです。(名前が同じなので気に入っています。) 重度の障害があるので、何をするのにも人の手を借り

- * 義務感だけで出ている。
- * 最初は言われるままに参加したが、子どものために一つでもと思って。
- * 会の施設に入れるかどうか分からないので少し疑問がある。
- * 毎回楽しんで参加している。
- * 障害者のことを考えてもらえる機会が啓蒙の場と思っている。
- * 恒例行事と思って、友人・知人にも協力の声かけをしている。
- * PTA行事の一貫として参加しないといけないと思っている。
- * できることは協力しよう。
- * 強制的なのでしかたなく。

アドバイスはどうぞ。



あとがき

会報三十三号をお届けいたします。二面にバザーについて多くの方々からご意見を戴きありがとうございました。連日の猛暑の中、会員の皆様どうぞご自愛下さいませ。

(矢野 西村 小泉 田中 金沢 日高 中野 宮脇)

- * 紙面の都合上卒業年度、学年、所属など割愛させて頂きました。
- * 売れ残りのないようにするためもっと値段を安くする。
- * みんなでワイワイ ガヤガヤと楽しみながらできる楽しさを知ってもらえるところうれしいですね。
- * 子どもの為だからとあまり言わない方がよい。
- * 商品品の値段の統一。
- * もっと活気あるバザーであって欲しい。
- * バザー会場のディスプレイにもう少し力を入れてほしい。

感謝

平成六年四月より六月までに次の方々より寄付を戴きました。感謝してご報告致します。

藤井和信 福田広光 牛村和子 中川 栄

私立灘高等学校生徒会 兵庫県肢体不自由児協会 市立須磨高等学校生徒会

卒業したら本人も私も希望としたら、内容は学校の延長のようなところ、『生涯学習の場！』がほしいです。通園保障されて、自立に向けての勉強や訓練をしたり、また作業も覚え、そして友達とのふれあいがもてればいいなあと思っています。(友生養護学校中学部二年 母親)